

2024 年度 工学院大学文化会 総括

工学院大学文化会
会長 神田 真智子



【声優トークショー】

声優トークショーは、新宿祭においてその活性化のため行う文化会が主催するイベントである。今回のステージ企画では多くの来場者に恵まれ、学内だけでなく学外からの聴衆も多く、新宿祭の集客に大きく貢献した。新宿祭は本部の役員が中心となって活動するが、来年度のためにも支部役員に段取りの引継ぎを行い、打ち合わせや情報共有をより綿密に行った。

1.存在意義

工学院大学文化会は、工学院大学の文化会所属の部員全員によって構成される団体であり、文化会役員は文化会所属の部活動から選出される。本会は文化会に所属する部活動の円滑な活動のために存在している。文化会は学生団体の一機関としての役割も担っていることから、文化会の活動は他の委員会や大学当局とも協力して活動を行い、工学院大学の部活動をより円滑に行うことができるように努力する。

2.総括

年間を通じて文化会員の文化創造活動を高め、自治委員会の役員としての責務を果たすために活動を行った。また、常に関を見据えて行動することにより円滑に活動出来るようにした。前年度までの活動を振り返り、八王子祭では野菜バーゼンの模擬店を出店、新宿祭では声優トークショーのステージ企画を開催し、学園祭の成功に寄与した。

3.役員会

役員会は本部役員と各部長で構成される文化会の最高決議機関であり、文化会の問題点を指摘及び大学側への要望を討議する場である。

今年度は昨年度同様に個別に連絡を取り合う形での連絡の強化に成功したため、引き続き綿密に行う事に尽力した。

4.活動内容

【部長会議】

部長会議は文化会に所属する部活動の代表者との対話の場であると同時に、部活動相互の活動を認識するための場である。

今年度は学生総会の前後に行い、必要な情報を十分に共有することができた。また、次年度以降も滞りなく開催するために引継ぎを行った。

【文化会総会】

文化会総会は文化会の最高協議機関であり、本年度予算の承認を得る場である。同時に前年度の決算報告への承認を得る場である。

今年度はオンラインと対面のハイブリットでの開催となった。昨年の反省を踏まえ、日程調整を迅速に行い、委任状の回収を Google Forms を用いる事で円滑に開催する運びとなった。次年度以降も円滑に開催するためには、今後も所属団体並びに文化会役員のご協力が必要である。

【野菜バーゼン】
野菜バーゼンは日常で接する機会の少ない地元住民の方々にも本学への親しみを持ってもらう事と、学生の皆様に文化会という団体をより認識して貰う事を目的としている。
今年度は例年とは八王子祭の時期が異なり、仕入れる青果物の品ぞろえも例年とは異なったが、来場者が多く2日目には完売し、問題なく企画を成功させることができた。

【激躍の作成】

激躍は各部活動や同好会の情報をまとめた会誌である。これは本学学長、学生支援課、各部の代表等から寄稿していただき作成する。激躍は新入生の目に触れる事が多いため、文化会という組織をより身近に感じてもらいやすいように尽力している。

今年度も引き続き激躍の製作を行い、文化会全体の魅力を伝えられるような冊子の製作を行った。

以上を 2024 年度工学院大学文化会の総括とする。